

保護者の皆様

府立富田林支援学校
校長 岡本 泰宜
准校長 向山 和子

令和5年度学校教育自己診断の実施について（集計結果）

～富田林支援学校みんなのためのアンケート～

日ごろは、本校の教育活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。

今年度は Google フォームを活用し、児童・生徒が通う施設等の職員の方々、保護者の皆様と協力してアンケートを実施しました。皆様からご提出いただいたアンケートは合計 181 通で提出率は 67.2%であり、前年度に比べて提出率は増加しました。

集計結果の詳細については別紙をご覧ください。各設問につきましては肯定的評価と否定的評価を以下のように区別しています。また、前年度の設問事項の一部を分割してより具体的な内容となるよう見直しています。

【肯定的評価】

- ☆☆・・・A+B が 90%以上
- ☆・・・A+B が 80%以上、90%未満

【否定的評価】

- ★・・・C+D が 10%以上 20%未満
- ★★・・・C+D が 20%以上

回答の選択肢

- A：よくあてはまる
- B：ややあてはまる
- C：あまりあてはまらない
- D：まったくあてはまらない

【参考】

- ◇・・・全年度を上回る評定

【全校の結果について】

18 問の設問中、15 問は 90%を超える肯定率であり、課題となる 3 つの設問[10、15、18]においても肯定率は 80%を超えており、全体的には良い評定でした。今年、特に重点的に取組んだ設問 4、設問 9 などは昨年度からさらに高い評定が得られました。

【各課題のある設問について】

- [設問 10] 今年度進路に関する情報提供と指導に関する項目を分離して実施した結果、中学部、高等部でともに★★2つの評定がありました。
- [設問 15] 全体的に高めの肯定率であるが、中学部、高等部で★1つの評定がありました。
- [設問 18] 全学部で★一つの評定があり、特に小学部の評定で高い数値が見られました。

裏面へ

【設問についての見解】

進路に関する内容については、中学部から高等部（他校の受験を含む）への進学、高等部から社会へ出る際の保護者の不安や思いが評定に表れているととらえています。

指導面に関しては、学習参観日を多く設けたことにより、日々の生活面の指導に加え、教科学習、グループ学習等の面からの意見が増加していることが評定に表れていると考えています。

1人1台端末の活用等については、学部や学習グループでの活用度合いの違いなど、学校内での活用実態の差も評定に表れていると考えます。

《保護者からの意見等、各学部の集計等検討結果について》

全体として、コロナ禍のような行事等に関する訴えやご意見は少なくなりました。学校の設備（駐車場や電話回線不足）や立地面等（交通の便）の意見は、い然課題として上がっています。

今後も保護者と学校の連携方法について引き続き対策や検討を重ねてまいります。その他のご意

見に関しては、以下に各学部からの返答を記載します。

【小学部】

通学バスと学校・保護者間の連携・情報共有については今後も担当者や担任を通じて進めていきます。一人ひとりに応じた指導や保護者の思いを教員と共有する環境づくりを日々の教育活動の中で行っていけるように今後も努めていきます。

【中学部】

中学部としましては、他の学部のように参観や行事日に保護者との交流機会を今後設けられるよう検討していきます。また、授業内容や指導方法及び、進路に関するニーズにも学校全体で対応を進めてまいります。

【高等部】

高等部では、今後も卒業後の自立と社会参加に向けて子どもたちの成長を支援できるよう、教育課程をさらに工夫改善しながら教育活動を実施してまいります。学校での子どもたちの様子についても、学期末の懇談会、通知票、電話連絡等を活用しながら発信、共有していきます。その他気になることがありましたらご相談ください。